

第 13 回 日中韓三国保健大臣会合共同声明（2020 年 12 月 11 日） （仮訳）

我々、中華人民共和国、日本国、大韓民国の保健大臣は、2020 年 12 月 11 日に、テレビ会議を通じて、日中韓三国保健大臣会合を開催した。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延が国民の幸福、生活及び安全にもたらす深刻な課題と、それがそれぞれの国及び世界全体の社会経済の発展に悪影響があることを認識する。

パンデミックによって失われた生命と苦しみに哀悼の意を表し、そしてすべての医療専門家、医療従事者、およびその他の最前線で活躍する人々に深い敬意を表する。

パンデミックの際の国際保健のガバナンスにおける重要な役割を果たす世界保健機関（WHO）を引き続き支援する。WHO やその他の国際機関の活動や目標に従って、我々も活動を行い、目標を設定し、新型コロナウイルス感染症対策の実行を継続し、保健分野における協力を推進する。

我々は、予防、管理、監視、対応の対策について、自由で開かれた、透明性のある、適時の情報共有に同意する。我々は日中韓感染症フォーラムなどを通じて引き続き協働する。

各国は、国内においても国際的にも共同で、保健制度の対応能力を向上させ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを促進させ、すべての人々の健康を最大限に達成し、持続可能な開発のための国連 2030 アジェンダにおける健康関連の目標の実現を推進する。

我々は、新型コロナウイルス感染症への対応における各国間の連携を強化することや、各国間の協力をさらに強化するために、日中韓

三国保健大臣会合が開始された当初からの成果を振り返る。ウイルスを協働して制御することに焦点を当て、今回の議題には、新型コロナウイルス感染症の予防とコントロール、パンデミックにおける ICT の役割、新型コロナウイルス感染症の診断と治療、が含まれる。

1 効果的な新型コロナウイルス感染症の予防及び管理の方法

我々は日中韓大臣による特別ビデオ会議、ASEAN+3 の新型コロナウイルス感染症に関する特別サミット、ASEAN+3 健康開発高官会議の特別ビデオ会議、その他の関連する会議、並びに会議で得られた重要なコンセンサスは、三国が有効な対策を共有し、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに立ち向かうために非常に重要である。我々は、新型コロナウイルス感染症に対峙するための、各国の状況に沿った、効果的な対策を実施するために、三国が相互に経験・知識の共有を強化することを提案する。中国、日本、韓国は、技術部門間の交流と協力を引き続き促進する必要がある。

2 新型コロナウイルス感染症の予防と管理における ICT の役割

我々は、“遠隔操作が可能、効率的、多才、便利” なインターネットテクノロジーの他に類を見ない利益効果や、最前線で働く医療従事者の負担を軽減させるために、新たなサービスモデルの導入を行っていただいた全ての関係者に感謝する。これらの努力は、感染拡大を抑え、物資配分の最適化を行うことによる、パンデミックの予防と管理の助けともなる。我々は、各国が ICT の活用を通して学んだ教訓に基づき、三国がお互いに協力して新型コロナウイルス感染症の制御を支援することを提案する。各国は、国際協力を促進し、最良の行動を共有し、ICT の利用を促進することにより、国民のヘルスサービスと福祉が改善することを期待している。それゆえ、我々は UHC の推進において、協力を強化する。

3 新型コロナウイルス感染症の診断、治療及びワクチンにおける協力

我々は、治癒率を上げ、致死率を下げることを目的とした、新型コロナウイルス感染症の診断と治療に関するプロトコルを革新するという、三国の努力を称賛する。我々は、三国に対し、医薬品とワクチンの開発、及び検査薬と医療機器の適応における経験の共有を引き続き強化するよう要請する。各国は、医療製品と医療サービスの供給を改善し、最前線の医療従事者を保護するために、医療分野への投資を増やす必要がある。我々は、COVAX ファシリティなどの国際的な枠組みと協力し、新型コロナウイルスワクチンが世界的な公共財であると引き続き支持し、低中所得国におけるワクチンの入手可能性と購入可能性の確保に貢献する。

4 がんとの戦いにおける協力

アジア太平洋地域におけるがんの予防と管理を促進するために、各国が開催している日中韓がんワークショップに感謝する。我々は、がんの予防と管理の分野における三国の協力をより深め、新たな状況下における協力と発展について共に議論を行う。国際協力を拡大する。引き続き、アジア太平洋地域における三国の役割を果たし、世界的ながんの予防と管理を強化する。

5 健康的な高齢化における協力

各国が主催する日中韓高齢化フォーラムなどのプラットフォームを通じた経験の共有、政策対話、学術ワークショップを称賛する。これらのプログラムは、政府部門と科学研究機関間の実質的な交流と協力を促進してきた。高齢者にやさしい社会の構築、情報化時代における高齢者の正当な権利と利益の保護、高齢者への医療サービス、医療と社会的ケアの統合を含む、三国の共通の関心分野における、情報共有、経験の共有、人材育成、プロジェクト協力の強化を提案し、三国の高齢者の要求を満たし、人々がより幸福となるように、科学研究機関が共同で科学研究を進展することを推奨し、支持する。

6 次回の会議

我々は、三国保健大臣会合が、三国協力事務局の関与により定期的
に開催され、関連するすべての活動が公平で、相互主義、相互利益
に基づいて行われるという共通の認識を再確認する。

次回の日中韓三国保健大臣会合は、2021 年に日本で開催される。